

財政状況等一覧表（平成19年度）

(単位:百万円)

団体名 北名古屋市

人口(人) (平17国調)	面積(k㎡) (平19.10.1)
78,078	18.37

標準税収入額等 A	普通交付税額 B	臨時財政対策 債発行可能額G	標準財政規模 A+B+C
13,866	397	742	15,005

1. 一般会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
一般会計	21,961	21,076	885	885	181	14,684	
西春駅西土地区画整理事業特別会計	192	183	9	9	89	85	
一般会計等	22,039	21,145	894	894		14,769	

2. 公営企業会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入金見込額	備考
国民健康保険特別会計	7,555	7,550	6	6	721	—	—	
介護保険特別会計	2,857	2,792	65	65	407	—	—	
老人保健特別会計	3,835	3,813	21	21	283	—	—	
介護サービス特別会計	268	256	12	12	10	—	—	
公共下水道事業特別会計	2,343	2,305	38	20	533	5,395	1,797	
公営企業会計等 計				123		5,395	1,797	

- (注) 1. 法適用企業とは、地方公営企業法を適用している公営企業である。
 2. 法適用企業に係るもの以外のものについては「総収益」「総費用」「純損益」の欄に、それぞれ「歳入」「歳出」「形式収支」を表示している。
 3. 「資金剰余額/不足額(実質収支)」は、地方公共団体財政健全化法に基づくものであり、資金不足額がある場合には負数(△～)で表示している。
 4. 「左のうち一般会計等繰入金見込額」は、企業債(地方債)現在高のうち将来負担比率に算入される部分の金額である。

3. 関係する一部事務組合等の財政状況

(単位:百万円)

一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等負担見込額	備考
尾張農業共済事務組合	279	265	14	9	—	—	—	法適用
愛知県市町村職員退職手当組合	10,963	10,841	122	122	—	—	—	
北名古屋衛生組合	1,605	1,561	44	44	18	4,155	3,316	
西春日井広域事務組合	1,922	1,860	61	61	30	398	173	
北名古屋水道企業団	1,803	1,745	58	1,085	35	3,784	—	法適用
尾張市町交通災害共済組合	113	88	25	25	5	—	—	
愛知県後期高齢者医療広域連合	3,097	2,931	166	166	—	—	—	
一部事務組合等 計				1,512		8,837	3,489	

4. 地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況

(単位:百万円)

地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は 正味財産	当該団体からの 出資金	当該団体からの 補助金	当該団体からの 貸付金	当該団体からの 債務保証に係る 債務残高	当該団体からの 損失補償に係る 債務残高	一般会計等 負担見込額	備考
尾張土地開発公社	△ 4	40	3	—	—	907	—	—	
地方公社・第三セクター等 計			3	—	—	907	—	—	

(注) 損益計算書を作成していない民法法人は「経常損益」の欄には当期正味財産増減額を表示している。

5. 充当可能基金の状況

(単位:百万円)

充当可能基金名	平成18年度 A	平成19年度 B	差引 B-A
財政調整基金		1,399	
減債基金		—	
その他充当可能基金		1,220	
充当可能基金 計		2,619	

(注) 「充当可能基金」とは、基金のうち地方債の償還等に充当可能な現金、預金、国債、地方債等の合計額をいい、貸付金及び不動産等を含まない。

6. 財政指標の状況

財政指標名	平成18年度 A	平成19年度 B	差引 B-A	早期健全化 基準	財政再生 基準	資金不足比率 (公営企業会計名)	平成18年度 A	平成19年度 B	差引 B-A
実質赤字比率	9.37	5.96	△ 3.41	△ 12.78	△ 20.00	公共下水道事業特別会計		—	
連結実質赤字比率		6.78		△ 17.78	△ 40.00				
実質公債費比率	3.7	3.8	0.1	25.0	35.0				
将来負担比率		26.8		350.0					
財政力指数	1.11	1.12	0.01						
経常収支比率	81.0	84.8	3.8						

- (注) 1. 「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「資金不足比率」は負数(△～)で表示しており、収支が黒字の場合には便宜的に当該黒字の比率を正数で表示している。
 2. 「資金不足比率」の早期健全化基準に相当する「経営健全化基準」は、公営競技を除き、一律 △20%である(公営競技は0%)。